

ムツウサの効能など発表

城辺町で「しま興し講演会」



会場には大勢の農家や行政関係者らが訪れ講演に熱心に聞き入っていた
=20日、城辺町農村環境改善センター

ビデンス・ピローサ
(方言名・ムツウサ)を
活用した農業振興と健康
づくりをテーマにした
「地域資源を活かしたし
ま興し講演会」(主催・
城辺町、共催・琉球放送、
武蔵野免疫研究所)が二
十日午後、同町農村環境
改善センターで開かれ

た。町内に自生する薬草
のムツウサが医学・化粧
品・健康食品の各分野で
の研究成果が発表され、
ムツウサの効能が改めて
クローズアップされた。
講演者で、星薬科大学の
瀬山義幸教授は「ビデン
ス・ピローサの成分を研
究している友人が、世界
で初めての新規成分を発
見した」と明らかにした
上で「現在特許出願中な
ので、詳しいことは言え
ない」と述べ、新発見の
成分が今後の医学などに
活用されることを期待し
た。

会場には農家や行政の
関係者らが訪れ講演に熱
心に聞き入っていた。
講演では、瀬山教授が
「宮古ビデンス・ピロー
サはどんな病気に効くの
か」、河本昌彦ナリス化

粧品常務取締役が「美容
と健康に役立つ宮古ビデ
ンス・ピローサ」、増澤
幹男北里大学病院教授が
「皮膚科の医師から見た
宮古ビデンス・ピローサ
の可能性」、地元から農
業法人かぎすま宮古の宮
国匡代表取締役が「宮古

ビデンス・ピローサの栽
培と二次加工の現状につ
いて」とのテーマでそれ
ぞれ発表した。
瀬山氏は、大学で動脈
硬化などを研究。ビデン
ス・ピローサを臨床科学
で研究した結果では「糖
尿病、肝炎、胃かいよう、
傷に効くことが分かつ
た」と述べ、引き続き研
究していく意欲を示し
た。

河本氏は「これまでに
ビデンス・ピローサを使
った化粧品を四万個販売
したが、四万個の二倍は
売れる思う。ビデンス・
ピローサを使用した女性
から『アトピーが一月月
で治った』『ニキビの赤
みが取れた』『頭皮のか
ぶれが治った』などの声
が多数寄せられている。
当社としては厚生労働省
に医薬部外品に指定する
ようお願いしている」と
述べた。

増澤氏は「ビデンス・
ピローサで作った漢方茶
を『夏季かいよう』の症
状を持つ七人に飲ませた
ところ、再発がゼロとな
った」と説明。その上で
「漢方茶の有効な病名は、
夏季かいよう、アトピー
性皮膚炎、糖尿病、口内
炎などがある。また、ビ
デンス・ピローサには血
糖を下げる効果がある」と
話し、ビデンス・ピロ
ーサが今後の臨床医学に
多く活用されていくこと
を予想した。

宮国氏は「現在十七軒
の農家とビデンス・ピロ
ーサ栽培を契約してい
る。加工場は八人で稼働
させており、将来的には
十人の職員が必要と思
う」と述べ、大勢の
来場者らにビデンス・ピ
ローサの栽培拡大を呼び
かけた。